



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月10日

上場会社名 秩父鉄道株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9012 URL <http://www.chichibu-railway.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 隆男  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 森田 宏昭 TEL 048-523-3311  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	4,038	△7.0	239	△10.5	237	△9.9	284	19.4
28年3月期第3四半期	4,340	2.6	267	25.0	263	32.2	238	28.5

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 464百万円 (101.7%) 28年3月期第3四半期 230百万円 (10.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	19.15	—
28年3月期第3四半期	16.04	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	23,288	10,719	46.0	720.23
28年3月期	22,958	10,255	44.6	688.97

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 10,708百万円 28年3月期 10,243百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	2.2	160	8.1	150	7.9	210	60.3	14.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3項「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	15,000,000株	28年3月期	15,000,000株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	131,902株	28年3月期	131,533株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	14,868,481株	28年3月期3Q	14,869,448株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものはありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2項「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
5. 補足情報	9
(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、鉄道事業を中心に輸送の安全確保を最優先に取り組み、営業活動ではイベントの実施や沿線市町・同業他社等と連携した積極的な誘客活動を実施し、収益の確保に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益は4,038百万円（前年同期比7.0%減）、営業利益は239百万円（同10.5%減）、経常利益は237百万円（同9.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は284百万円（同19.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

## [鉄道事業]

旅客部門におきましては、同業他社と協力したハイキングの実施や、関係団体の協力のもとS L列車でも各種イベントを企画するなど旅客誘致に努めました。また、秩父夜祭がユネスコ無形文化遺産に登録されたことに加え、週末開催となったことにより多くの人出となりました。しかしながら、沿線の就学人口の減少や8月後半からの天候不順の影響による旅客の減少を補いきれず、前年同期に比べ定期・定期外旅客収入は減少いたしました。

貨物部門におきましては、輸送量が減少したことに伴い貨物収入は前年同期に比べ減少いたしました。

営業費用は電力料金が値下がりしたことに加え、経費削減に努め前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は2,565百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は44百万円（同132.1%増）となりました。

## [不動産事業]

不動産事業におきましては、広告媒体を積極的に活用したこともあり賃貸収入は前年同期に比べ増加いたしました。分譲地販売及び請負工事収入は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は263百万円（前年同期比23.5%減）、営業利益は124百万円（同0.1%減）となりました。

## [観光事業]

観光事業におきましては、長瀨への誘客を促進するため旅行者への営業活動を実施した他、宝登山フォーリーフガーデンの設置やハロウィンイベントなど各施設で様々な企画を実施いたしました。しかしながら、長瀨ラインくんだりをはじめとする収入は、天候不順の影響を受け連休が続いたことから、前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は290百万円（前年同期比7.8%減）、営業利益は29百万円（同33.9%減）となりました。

## [バス事業]

バス事業におきましては、営業収益は337百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益は37百万円（同32.8%減）となりました。

## [その他事業]

その他事業におきましては、営業収益は877百万円（前年同期比13.9%減）、営業損失は6百万円（前年同期は12百万円の営業利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態について、総資産は、前連結会計年度末に比べ329百万円増加し23,288百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ、164百万円増加し1,738百万円、固定資産は164百万円増加し21,549百万円となりました。流動資産増加の主な要因は受取手形及び売掛金が増加したことによるものであります。固定資産増加の主な要因は投資有価証券が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ134百万円減少し12,568百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ4百万円増加し3,525百万円、固定負債は139百万円減少し9,042百万円となりました。固定負債減少の主な要因は長期借入金の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ464百万円増加し10,719百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及びその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年11月10日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取り扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	948,299	894,063
受取手形及び売掛金	185,225	435,393
分譲土地建物	136,806	129,774
商品及び製品	28,779	27,373
原材料及び貯蔵品	95,418	115,287
繰延税金資産	—	62,750
その他	180,320	78,470
貸倒引当金	△1,181	△4,471
流動資産合計	1,573,669	1,738,642
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,775,699	13,787,648
減価償却累計額	△9,365,781	△9,486,335
建物及び構築物（純額）	4,409,917	4,301,312
機械装置及び運搬具	4,885,564	4,866,435
減価償却累計額	△4,280,570	△4,275,502
機械装置及び運搬具（純額）	604,994	590,932
土地	15,566,133	15,584,157
その他	654,908	697,501
減価償却累計額	△587,266	△592,268
その他（純額）	67,642	105,232
有形固定資産合計	20,648,687	20,581,635
無形固定資産	79,892	67,304
投資その他の資産		
投資有価証券	613,803	857,793
繰延税金資産	3,353	3,206
その他	59,594	61,011
貸倒引当金	△20,773	△21,420
投資その他の資産合計	655,979	900,591
固定資産合計	21,384,558	21,549,531
資産合計	22,958,227	23,288,173

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	172,156	128,466
短期借入金	1,133,498	1,220,000
1年内返済予定の長期借入金	1,199,979	1,156,391
未払法人税等	31,200	22,551
未払消費税等	53,553	91,591
繰延税金負債	220	—
賞与引当金	196,301	118,588
その他	734,410	788,047
流動負債合計	3,521,320	3,525,635
固定負債		
長期借入金	2,439,561	2,229,187
繰延税金負債	162,402	230,409
再評価に係る繰延税金負債	4,554,400	4,554,400
退職給付に係る負債	1,839,544	1,825,734
特別修繕引当金	83,200	98,800
長期預り金	102,587	104,130
固定負債合計	9,181,695	9,042,662
負債合計	12,703,015	12,568,298
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	21,915	21,916
利益剰余金	△842,409	△557,726
自己株式	△28,412	△28,502
株主資本合計	△98,906	185,687
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	371,909	542,469
土地再評価差額金	9,984,234	9,984,234
退職給付に係る調整累計額	△13,377	△3,970
その他の包括利益累計額合計	10,342,766	10,522,733
非支配株主持分	11,351	11,454
純資産合計	10,255,211	10,719,875
負債純資産合計	22,958,227	23,288,173

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）
営業収益	4,340,326	4,038,065
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	3,040,086	2,803,524
販売費及び一般管理費	1,032,297	994,722
営業費合計	4,072,383	3,798,247
営業利益	267,942	239,818
営業外収益		
受取利息	100	29
受取配当金	13,775	13,641
土地物件貸付料	16,327	17,567
助成金収入	150	—
その他	12,036	9,291
営業外収益合計	42,389	40,529
営業外費用		
支払利息	42,932	36,440
その他	4,031	6,527
営業外費用合計	46,964	42,968
経常利益	263,368	237,378
特別利益		
固定資産売却益	10,745	5,436
工事負担金等受入額	78,043	10,361
補助金	100	246
その他	418	2,236
特別利益合計	89,307	18,280
特別損失		
固定資産圧縮損	79,426	11,274
固定資産除却及び撤去費	—	37
特別損失合計	79,426	11,312
税金等調整前四半期純利益	273,248	244,347
法人税、住民税及び事業税	34,279	27,807
法人税等調整額	327	△68,194
法人税等合計	34,606	△40,387
四半期純利益	238,642	284,734
非支配株主に帰属する四半期純利益	122	51
親会社株主に帰属する四半期純利益	238,519	284,682

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）
四半期純利益	238,642	284,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,538	170,611
退職給付に係る調整額	9,331	9,406
その他の包括利益合計	△8,206	180,017
四半期包括利益	230,435	464,752
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	230,318	464,650
非支配株主に係る四半期包括利益	116	102

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	2,604,798	340,175	313,917	344,296	3,603,187	737,138	4,340,326	—	4,340,326
セグメン ト間の内部 営業収益 又は振替高	9,289	4,968	701	173	15,132	281,800	296,933	△296,933	—
計	2,614,088	345,143	314,619	344,469	3,618,320	1,018,939	4,637,260	△296,933	4,340,326
セグメント 利益	18,998	124,735	44,886	55,939	244,558	12,924	257,483	10,459	267,942

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、索道事業、タクシー事業、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額10,459千円には、固定資産未実現損益の消去額1,023千円、セグメント間取引消去9,436千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	2,557,419	258,785	289,534	336,031	3,441,771	596,293	4,038,065	—	4,038,065
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	7,788	5,130	681	1,023	14,622	281,289	295,912	△295,912	—
計	2,565,208	263,915	290,216	337,054	3,456,394	877,583	4,333,977	△295,912	4,038,065
セグメント 利益又は損 失(△)	44,088	124,611	29,650	37,615	235,966	△6,769	229,196	10,621	239,818

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、索道事業、タクシー事業、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額10,621千円には、固定資産未実現損益の消去額1,221千円、セグメント間取引消去9,399千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

5. 補足情報

(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入

			当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	増減率(%)
旅客人員	定期	千人	4,039	4,111	△1.7
	定期外	〃	2,206	2,237	△1.4
	計	〃	6,246	6,349	△1.6
貨物トン数		千トン	1,476	1,495	△1.3
旅客収入	定期	百万円	565	577	△2.0
	定期外	〃	925	936	△1.2
	計	〃	1,490	1,513	△1.5
貨物収入		〃	883	891	△0.8